

夢のかけはし

サバイバルゲームとは、チームに分かれ、決められた範囲内でエアソフトガンなどを使い相手と撃ち合いながら、ルールの中で勝利を目指すものです。私は昨年12月下堀町にオープンしたサバイバルゲームをするための施設「鹿屋サバイバルプレイパーク」のオーナーをしています。

私がサバイバルゲームを始めたきっかけは、昨年の8月に同級生に誘われたことでした。やってみたところ「これは面白い」と思い、そのときに鹿屋にサバイバルゲームのフィールドを作ろうと決意。「後の問題はのときに考えればいい」と思い、その場で決断しました。その後、2か月ほどで獅子目町にフィールドが完成しましたが、山の斜面だったため同時にプレーできる人数が限られていました。そこで「もっと大きいフィールドにしよう」とお客さんに誘われたことがきっかけで、現在の場所にオープンしました。

「鹿屋サバイバルプレイパーク」オーナー

やま した だい ち
山下 大地 さん

もぜひ来てもらいたいです。また、プレーで重要な要素の一つが参加者同士のコミュニケーション。知らない人でも一緒に協力しながらプレーすれば仲良くなり、良い関係を築くことができます。

先日は市内のお菓子屋さんとのコラボイベントを企画しましたが、今後も市内の事業者さんとタッグを組み、様々な形のイベントを企画して鹿屋の活性化にも貢献できればと考えています。そのためにはプレー人口を増やすことが第一です。道具の貸出料込みの値段設定など、知恵を出し工夫しながら、一人で来ても楽しめるサバイバルゲームの魅力を今後も発信していきたいです。



- 【右】フィールド内には壁やドラム缶、暗幕など身を潜めるものを配置。毎回楽しんでもらえるように、週ごとにレイアウトを変更している。
- 【左】小さなエアガンを使い身軽な恰好の人から、多くの装備品を身に付けて長いエアガンを持つ人まで、人それぞれの楽しみ方がある。

サバイバルゲームで地域と人とのつながりを豊かに

横山町在住。市内の小・中学校を経て、鹿屋農業高校卒業後、家業の農業の道に進む。平日は焼耐用のサツマイモと漬物用のダイコンを栽培し、土・日曜にオーナーの仕事をごなす。妻と2歳になる長女、7月上旬に生まれた長男の4人暮らし。(28歳)